

大阪府の実施する屋根貸しによる太陽光パネル設置促進事業を進める際の 標準的な基礎設置工法の選定結果について

標記について、大阪府E S C O提案審査会 太陽光パネル技術検討部会における審査の結果を基に、提案のあった基礎設置に係る全 24 工法の内、下記の 7 工法を今後大阪府の実施する屋根貸しによる太陽光パネル設置促進事業を進める際の標準的な工法に選定しました。

記

	工法名称 / 型式等	提案者
1	エネブリッド [®] (太陽光パネル固定システム) / 連結ディスク ADC	アーキヤマデ (株)
2	エネブリッド [®] (太陽光パネル固定システム) / グリッドベース L	アーキヤマデ (株)
3	GFRP 製基礎架台 BASE CUBE II / BASE CUBE II	コスモシステム (株) 大阪支店
4	PV-FIX ソーラーベース (非断熱防水対応) / ソーラーベース	田島ルーフィング (株) 大阪支店
5	PV-FIX ソーラーベース W (断熱防水対応) / ソーラーベース W	田島ルーフィング (株) 大阪支店
6	サンタック IB・ソーラーシステム / H=185タイプ、マルチタイプ	早川ゴム (株)
7	ベルベース工法 / ベルベース A、ベルベース F	(株) ベルテック

(企業名 50 音順)

以上

(選定理由：概要)

今回の審査にあたっては、RC屋根を対象としたアンカーで固定する工法の中から、主に次の 3 点において安全性等の確認ができた工法が選定されました。

「防水保証」の面では、提出された資料により、パネル設置時に既設防水層の補修、防水機能の維持が可能であり、いずれも防水同時施工で 10 年保証が可能である事から問題ないと判断されました。

「構造・耐風荷重」の面では、提出された資料により、安全性を確保する手法についての必要な記載があり、それを現場での詳細設計・施工計画時にも反映する事で問題なく施工できるものと判断されました。

「耐候性」の面では、提出された資料により、過去の実績、使用される材質の強度や実験結果等から、問題のないものと判断されました。

その他、各工法にて上記問題の解決や性能向上のための創意工夫が見られました。

なお、指定の様式により提出された資料の仕様を満足し、関係法令を遵守して施工される事を条件とすると共に、当該工法に起因するいかなる損害等についても、審査会並びに本府が一切の保証・責任を負うものではない事を申し添えます。

大阪府ESCO提案審査会 太陽光パネル技術検討部会 委員一覧

氏名	所属・役職
今西 達也	一般財団法人 日本建築総合試験所 試験研究センター 構造部 構造試験室 専門役
馬渡 勝昭	京都女子大学 家政学部 生活造形学科 非常勤講師
渡部 嗣道 (部会長)	大阪市立大学 大学院 生活科学研究科 居住環境学分野 教授

(敬称略：50音順)